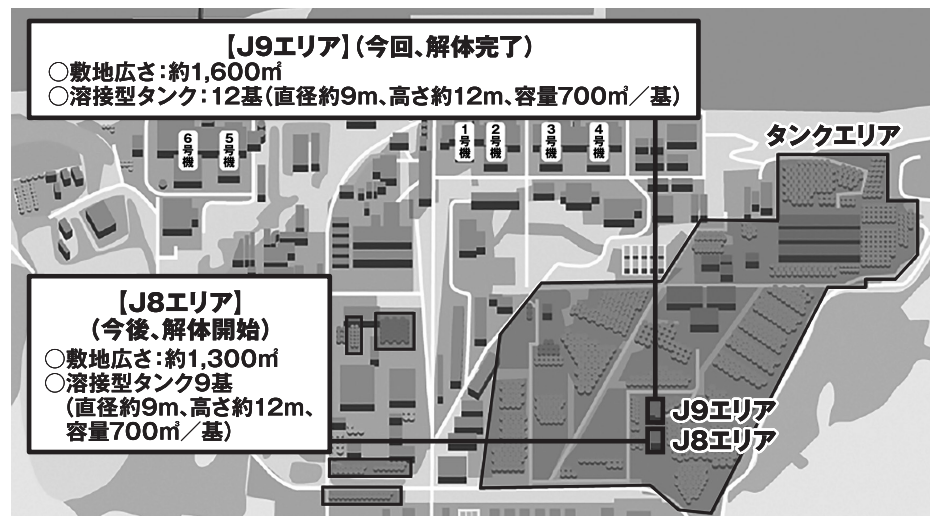


廃炉に必要な施設の敷地確保のため、ALPS処理水の海洋放出により空にしたJ9エリアのタンクを解体しました。

- ▶福島第一原子力発電所の廃炉作業の完遂に向けて、燃料デブリ取り出し等の廃炉作業を安全・着実に進めるために必要な設備・施設を設置するための敷地の確保を進めています。
- ▶その一環として、ALPS処理水の海洋放出により空にしたJ9エリアのタンク(12基)の解体作業を2025年2月14日から開始し、9月3日にエリア内のタンクの解体が完了しました。また、同エリアに隣接するJ8エリアのタンク(9基)については、ヤード整備等の準備が整い次第、2025年度内に解体作業を開始する計画です。解体作業完了後のJ8・J9エリアは、3号機の燃料デブリ取り出し関連施設の設置を予定しています。



発電所構内図(イメージ)



タンク解体前のJ9エリアの様子(撮影日:2025年2月13日)



タンク解体後のJ9エリアの様子(撮影日:2025年9月3日)



J9エリアタンク解体作業の解説動画はこちらをご覧ください
▶【解説動画】J9エリアタンク解体作業
https://www.tepco.co.jp/library/movie/detail-j.html?catid=61709&video_uuid=15524



ALPS処理水等の貯蔵量についてはこちらをご覧ください
▶【ALPS処理水等の低減状況】
<https://www.tepco.co.jp/decommission/progress/watertreatment/alpsstate/>



福島第一原子力発電所の廃炉・汚染水・処理水対策
▶【皆さまのご意見をお聞かせください】
<https://www.tepco.co.jp/decommission/voice.html>

TEPCO

東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー
〒979-1301 福島県双葉郡大熊町大字夫沢字北原22